



九年庵（佐賀県神埼市）

平成29年度

# 第94期中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



ずっと先まで、明るくしたい。

## 目次 CONTENTS

ごあいさつ	1
トピックス	2
事業の状況	5
インフォメーション	6

# ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第94期中間報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

当上半期の業績につきましては、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となったものの、黒字を確保することができました。

当期の中間配当につきましては、当年度の業績や中長期的な収支・財務状況などを総合的に勘案し、普通株式1株につき10円とさせていただきます。配当水準につきましては、安定配当を基本方針に、できるだけ早く震災前の水準に回復できるよう、最大限の努力を傾注してまいります。

当社は、電力小売市場での競争の進展や本年4月からのガス小売の全面自由化の開始などエネルギー分野における激しい競争に直面するとともに、電気事業において大幅な制度改革への対応が求められるなど、かつてない大きな変革期を迎えており、これらに的確に対応していくためには、経営革新への取り組みを一段と加速する必要があると考えております。

こうしたなか、当社は、グループの経営姿勢を更に明確にする観点から、本年6月、今後5か年の達成すべき財務面の目標として、「2021年度末の自己資本比率20%程度」、「2017年度から2021年度平均の経常利益1,100億円以上」、「2017年度から2021年度累計の成長投資4,200億円」の3点を設定し、公表いたしました。

今後、この財務目標の達成に向けて、多様な電気料金メニューの提供やお客さまサポートの充実、販売体制の強化など、電力小売事業における競争力の強化はもとより、インドネシアでの大規模地熱開発など海外電気事業や、「九電みらいエナジー」によ

る再生可能エネルギー事業の推進など、成長分野への積極的な投資を行ってまいります。

また、財務目標の達成にあたりとりわけ重要な原子力発電につきましては、国の審査が最終段階にある玄海3、4号機の使用前検査等に適切に対応し、1日も早い再稼働を目指すとともに、発電所の安全・安定運転を継続していくために、最新の技術的知見やデータを積極的に取り入れて、自主的・継続的に安全性向上対策を実施してまいります。

今後も、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九州電力の思い」及び中期経営方針に掲げた「『日本一のエネルギーサービス』を提供する企業グループ」の実現を目標として、グループ一体となった取組みを進めることにより、持続的な成長を目指すとともに、更なる企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月



代表取締役社長

瓜生 道明



## 海外エネルギー事業の強化に向けた取組みについて

### 世界最大級の地熱発電所が運転開始

インドネシア スマトラ島サルーラ地区で地熱発電所を開発しています。本年3月に初号機(11万kW)、10月に2号機(11万kW)が営業運転を開始しました。引き続き、3号機の営業運転開始(2018年予定)に向け建設を推進中ですが、完成後には世界最大級の地熱発電所(総出力32万kW)となります。「地熱の九電」を旗印に海外でも再エネ事業を展開してまいります。

【噴気試験の様子】



【2号機】



### 九電グループの総合力で国際ソリューションを!

国内外の電気事業で培った技術力とノウハウを活かし、海外コンサルに取り組んでいます。グループ会社である西日本技術開発(株)をはじめとした、専門性の高いパートナーと協力し、幅広い電力・エネルギー分野を対象に、19か国・地域において、68件実施しています。今後も海外コンサルを推進し、各国の電力安定供給、環境・省エネに貢献してまいります。

#### 2017年度実施中の海外コンサル案件

【ケニア地熱発電運営調査】



【キューバ再エネ基礎調査】



・当社とグループの西日本技術開発(株)ほかで共同実施  
(提供:国際協力機構)

### 着実な事業拡大を目指して

海外発電事業(IPP事業)と海外コンサル事業を両輪に、2030年目標の海外発電事業持分出力500万kWの実現を目指します。

2030年の海外発電事業持分出力目標

**500万kW**

[155万kW(2017年11月時点)、240万kW(2021年時点)]

# 競争環境に対応する新サービスの展開について

毎日の生活に“あんしん”をお届けします。

## 九電 あんしんサポート

ご家庭の電気トラブルに

でんきサポート

頑張るママ・パパを応援

子育てサポート

カギ・水まわり・ガラスのトラブルに

生活トラブルサポート

親御さまの様子を定期的に確認

親孝行サポート

電気の使用量で親御さまをみまもり

みまもりサポート

庭の草取りや家事代行

くらしサポート

「空き家」の状況を確認

空き家サポート

「お墓」の状況を確認

お墓サポート

暮らしのお困りごとに  
8つのサポートで  
お応えします！



※利用条件などサービスの詳細は、  
当社ホームページ等でご確認ください。

詳しくは

九電 あんしんサポート

検索



ケイレイライフプラス

# 環境体験イベント「Play Forest」について *Play Forest*

当社では、「ずっと先まで、明るくしたい。」という思いから、九州の豊かな森を子どもたちの未来まで、ずっと残していくため、九州各県で環境体験イベント「Play Forest」を開催しています。

「学ぶ」「守る」「楽しむ」の要素を織り込んだ様々なブースでの体験を通じて、「森を大好きになって、森を大切にしたい。」という願いを込めて本イベントを運営しています。

## 森を「学ぶ」

実験やゲームを通じて、森が保有する様々な機能（地球温暖化抑制機能や水源涵養機能、生物多様性保全機能など）を「学び」ます。



土壌透水実験[法華嶽公園(宮崎県)]



挿し木苗づくり[油山市民の森(福岡県)]

## 森を「守る」

挿し木苗づくりなどの森林保全体験を通じて、森を「守る」ことの大切さを学びます。

## 森を「楽しむ」

ツリークライミング(木登り)や木工教室、火起こしなど、森を五感で感じながら心いっぱい「楽しむ」ことで、森を大切に育てる心を育みます。



ツリークライミング[四季の里旭志(熊本県)]

詳しくは

Play Forest

検索



## 収支の概要

当上半期のわが国経済は、生産や輸出などの持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いています。九州経済は、生産や輸出が高水準で推移しているほか、設備投資の増加や個人消費の回復もあり、緩やかに拡大しています。

当上半期の連結収支につきましては、収入面では、電気事業において、販売電力量の減少はありましたが、燃料費調整の影響による料金単価の上昇などにより電灯電力料が増加したことや、再エネ特措法交付金が増加したことなどから、売上高（営業収益）は前年同期に比べ6.6%増の9,892億円、経常収益は6.4%増の9,974億円となりました。

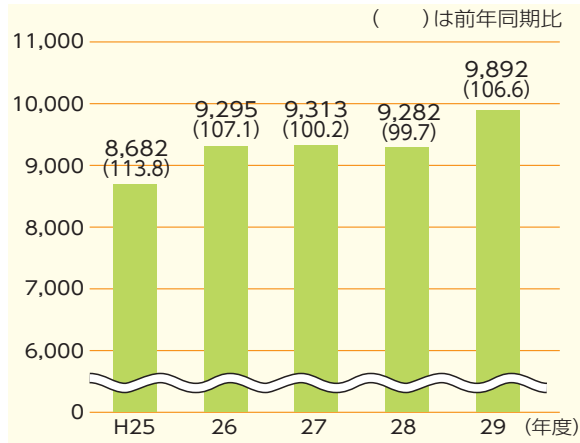
一方、支出面では、グループ一体となって費用削減に取り組んでいます。電気事業において、

再生可能エネルギー電源からの他社購入電力料が増加したことや、燃料価格の上昇などにより燃料費が増加したことに加え、諸経費が増加したことなどから、経常費用は9.8%増の9,186億円となりました。

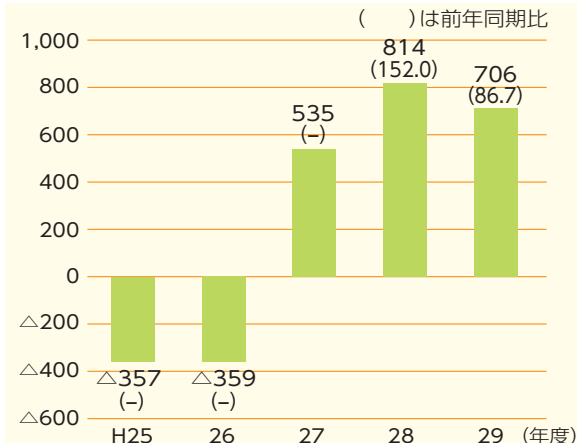
以上により、経常利益は前年同期に比べ21.4%減の788億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は13.3%減の706億円となりました。

なお、玄海原子力発電所3、4号機は新規規制基準への適合性に係る使用前検査が続いており、当社は引き続きグループ一体となって、安全確保・法令遵守・安定供給を前提に、徹底した費用削減に努めるとともに、玄海原子力発電所の早期再稼働に向けた取組みを進めてまいります。

■売上高(営業収益)の推移(4~9月累計) (単位:億円)



■四半期純損益(注)の推移(4~9月累計) (単位:億円)

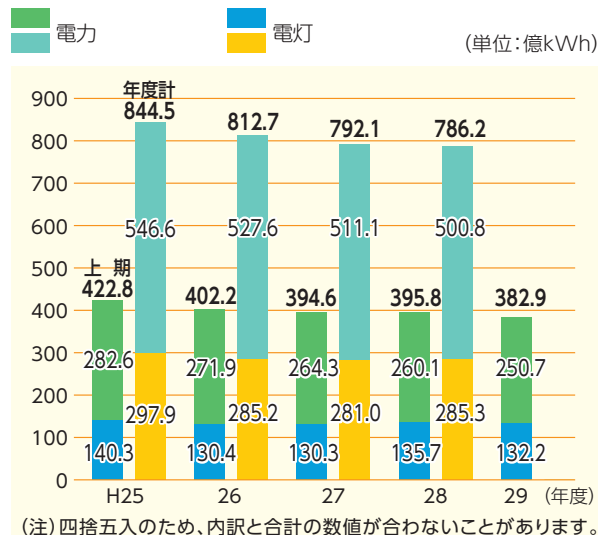


## 販売電力量等の概要

当上半期の販売電力量につきましては、契約電力の減少などから383億kWhとなり、前年同期に比べ3.3%の減少となりました。

一方、供給面につきましては、川内原子力発電所1、2号機の安定稼働に加え、新エネルギー等の増加に対して火力、揚水等の発電設備の総合的な運用を行うことにより、安定した電力をお届けすることができました。

### 販売電力量の推移



## 会社概要

設立年月日	昭和26年5月1日
資本の額	2,373億486万3,699円
従業員数	13,176名
主要事業所	
本店	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 ☎(092) 761-3031
支社	北九州・福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・東京

(平成29年9月30日現在)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 (その他必要あるときはあらかじめ公告します。)

単元株式数 普通株式 100株  
A種優先株式 1株

証券コード 9508

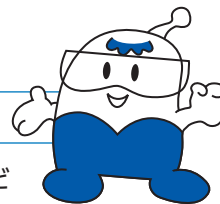
公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、福岡市において発行する西日本新聞に掲載して行います。

●ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

## 株式に関するお手続きのお問い合わせ



住所変更、単元未満株式(100株未満)の買取・買増請求、相続のお手続きなど

株式を証券会社へお預けの株主さま

お取引の各証券会社

株式を証券会社へお預けでない株主さま  
(特別口座に株式をお持ちの株主さま)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031 (フリーダイヤル)  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

### 「特別口座」に株式をお持ちの株主さまへ

- ◎特別口座でご所有の株式について、売買・譲渡するためには、「証券会社の口座」への振替手続きが必要です(単元未満株式の買取・買増手続きは、特別口座でも請求可能です)。
  - ◎特に、現在「特別口座」と「証券会社の口座」の両方にお預けの場合には、「特別口座」から「証券会社の口座」へのお振り替えにより、「証券会社の口座」で一括管理されることをお勧めします。
  - ◎お預け状況の確認や口座振替をご希望される株主さまは、上記の三井住友信託銀行までお問い合わせください。
- \*「特別口座」から「証券会社の口座」への振替には手数料はかかりません。  
\*証券会社によって、口座開設手数料や管理料が発生する場合がございます。  
詳細は、各証券会社までお問い合わせください。

## 九州電力株式会社

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 TEL 092-761-3031 (代表)  
ホームページアドレス <http://www.kyuden.co.jp>